

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(1月分)について

2022年1月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	-3,520	3,873	—	13,794,895	—
外国人旅行	92	0	—	43,245	0.2%
国内旅行	2,984,343	-309,356	—	7,550,075	39.5%
合 計	2,980,915	-305,483	—	21,388,215	13.9%

※今年度は、前々年比(2019年度)を記載しております。

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額29億8,091万5千円、前々年比13.9%となりました。

海外旅行は、新たな変異株による感染が世界各国で拡大し、個人旅行においては航空券の取り消しがあったことや、募集型企画旅行の催行を引き続き中止したことにより、取扱高はマイナスとなりました。

国内旅行も同様に、急速な感染拡大とまん延防止等重点措置の発出により、大きく影響を受けました。1月上旬に沖縄、広島、山口で同措置が発出された後、1月下旬には東京、大阪など34都道府県に対象地区が拡大し、順調に回復が進んでいた予約状況が鈍化しました。取扱高は前年からは回復しましたが、前々年比では39.5%に留まりました。

株式会社阪急阪神ビジネスラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	265,948	301,452	88.2%	2,510,601	10.6%
外国人旅行	0	0	—	121	
国内旅行	82,516	47,315	174.4%	194,454	42.4%
合 計	348,464	348,768	99.9%	2,705,176	12.9%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額3億4,846万4千円、前々年比12.9%となりました。

海外旅行は、新たな変異株による感染拡大により、入国制限等、水際対策が強化されたこともあり、出張需要は低調となりました。

国内旅行も同様に影響を受け、急速な感染拡大やまん延防止等重点措置の発出により、増加傾向にあった企業の出張需要が停滞しました。

阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	7,681	2,539	302.5%	223,531	3.4%
外国人旅行	0	0	—	0	—
国内旅行	1,322	2,819	46.9%	6,530	20.2%
合 計	9,004	5,358	168.0%	230,061	3.9%

【概況】

1月の営業概況は、総取扱額900万4千円、前々年比3.9%となりました。

グループ3社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスラベル、阪神トラベル・インターナショナル株式会社

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	前々年 同月取扱高	前々年 同月比
海外旅行	263,490	305,662	86.2%	16,229,000	1.6%
外国人旅行	92	0	—	43,366	0.2%
国内旅行	3,054,008	-266,095	—	7,664,415	39.8%
合 計	3,317,590	39,567	8384.7%	23,936,781	13.9%

*グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724